

# アジア・アセアン教育研究センター活動報告

理系グローバル人材養成力強化を目指すインターディシiplinary教育のASEANとの協働



## 【アジア・アセアン教育研究センター設立】

千葉大学では平成24(2012)年から文部科学省の支援を受け、千葉大学の学生が文理融合チームを組んで、自ら授業を開発し、ASEAN諸国の高校で日本の先進的な科学・技術を教える教員体験プログラム(ツインクルプログラム)を実施してきました。この6年間で420名の学生がASEAN諸国での教員体験をし、異文化の中で臨機応変に教える力を身につけてきました。

また、平成30(2018)年2月1日に、教員養成と現職教員のグローバル化を推進する研究センター(アジア・アセアン教育研究センター)を設置しました。今後は、アジア・アセアン地域で教員養成と教育活動のグローバル化推進に関する国際共同研究を行います。

## アジア・アセアン教育研究センタープレオープンング

実施: 2018年2月17日(土)

会場: 千葉大学西千葉キャンパス教育学部2号館大講義室

ツインクルコンソーシアムに加盟する科学教育に関係する大学教員(54名)が一堂に会しました。新たにラオス大学より学部長(Athitouthay Chatouphonexay 先生)が参加しました。千葉大学からは徳久学長、渡邊理事、西田副学長に加え、教育学部を中心にグローバルに教員養成と教育研究に携わる教員が参加しました。発表を通して各国の教員養成の仕組みについて情報を共有し、教員養成と現職教員のグローバル力強化のための国際共同研究に関する意見交換を行いました。終了後は、個別ミーティングを実施し、更に連携強化をすることができました。

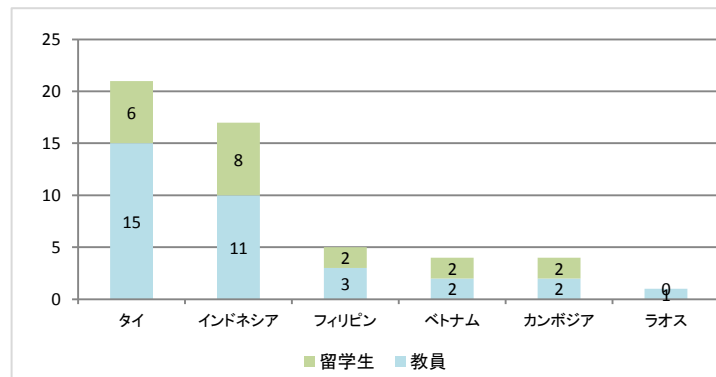


▲徳久学長挨拶

▲発表の様子

2018.2.17 進行	
9:00-9:10	開会の挨拶 千葉大学学長 徳久剛史 千葉大学教育学部長 小宮山祥与志
9:10-9:15	アジア・アセアン教育研究センターの概要 教育学部教授 野村純
	発表: 各国の教員養成の仕組み
9:15	千葉大学教育学部教授 国際交流委員会 ホーン・ベヴァリ
9:30	インドネシア、バンドン工科大学 個別の取り組み紹介: インドネシア大学、ガジャマダ大学 ボゴール農科大学、ウダヤナ大学
10:10	タイ、チュロンコン大学 個別の取り組み紹介: マビドン大学、カセサート大学 キングモンクット工科大学、チェンマイ大学
10:50	休憩
11:05	フィリピン、パンガシナ州立大学 個別の取り組み紹介: サンカルロス大学
11:30	カンボジア、玉立ブノンベン大学、 ベトナム、ベトナム国家大学ハノイ教育大学、 ラオス、ラオス国立大学
12:35	閉会の挨拶 千葉大学理事 渡邊誠
12:45-14:15	情報交換会: レストランコルザ
14:15-15:45	ツインクルコンソーシアム(個別会議)

## アジア・アセアン教育研究センタープレオープンング ASEAN教員・留学生(合計54名)



## 文部科学省大学教育改革加速プログラム(AP)の高大接続教育活動 国際研究発表会への参加

実施: 2018年2月18日(日)

会場: 千葉大学西千葉キャンパス教育学部2号館

千葉県下を中心に近隣都県を含めた高校生による科学および文化研究の発表会を開催し、各国参加者はコメンテータとして参加するとともに、日本側の大学および高校教員と情報交換し、共同研究に関する内容を深化しました。午後は高校生を主体とし日本および参加諸外国の教育関係者によるワークショップを開催しました。高校生は大学生TAの支援のもと、「地球温暖化」をテーマとして英語で討議し、発表しました。

## 【参加者詳細】

参加者	人数
AP高校関係者	150
ESDコンソーシアム	96
ASEAN教員	34
ツインクル留学生	20
ツインクル派遣学生	36
千葉大学関係者	39



▲研究発表の様子



▲ワークショップの様子

【千葉大学実施支援】本プログラムは海外との組織的教育研究交流支援プログラムIRとリンクした教育マネージメント(教育GP)千葉大学教育学部、等の支援により実施

